

館外イベント 2012 年度

平和祈念展示資料館

2012年度

2013年2月7日

「記憶のリレー」放送

平和祈念展示資料館が発信するシベリア抑留などの戦争体験を若い世代に語り継ぐ番組、「記憶のリレー～戦争体験をつなぐ課外授業～」をテレビ埼玉で放送します。

放送日時:平成25年2月16日(土)午後8時～8時55分

放送局:テレビ埼玉



2012年12月26日

記憶のリレー

平和祈念展示資料館が発信するシベリア抑留などの戦争体験を若い世代に語り継ぐ番組、「記憶のリレー～戦争体験をつなぐ課外授業～」をテレビ埼玉が制作します。

放送予定日時:平成25年2月16日(土)午後8時～8時55分

放送局:テレビ埼玉

2012年12月26日

平和祈念展 in さいたま

日時:平成25年2月19日(火)～2月23日(土)午前9時30分～午後6時30分(最終日は午後5時まで)

会場:さいたま市プラザノース ノースギャラリー4～7



2012年12月19日

戦後の労苦を語り継ぐ「体験談募集！」

第二次世界大戦での戦後強制抑留および海外からの引揚げについてのご自身の体験談、または体験された方から聞いた話を募集します。

2012年12月10日

平和祈念フォーラム in 名古屋

日時:平成25年1月19日(土)午後2時～午後4時(開場午後1時30分)

会場:名古屋国際センター 別棟ホール



2012年11月26日

平和祈念展 in 名古屋

日時:平成25年1月16日(水)～1月20日(日)午前10時30分～午後7時30分

会場:mozoワンダーシティ イーストコート1階



2012年10月17日

平和祈念展 in 宮崎

日時:平成24年11月28日(水)～12月2日(日)午前10時～午後7時(最終日は午後4時まで)

会場:宮交シティ3階 紫陽花ホール



2012年10月4日 平和祈念交流展 「シベリア強制抑留いろはかるたー
斎藤邦雄の世界ー」
日時：平成24年11月7日（水）～11月25日（日）午
前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
会場：滋賀県平和祈念館 地域交流室



2012年9月12日 平和祈念展 in 新潟
日時：平成24年11月7日（水）～11月11日（日）午
前9時30分～午後6時30分（最終日は午後5時まで）
会場：新潟市東区役所 南口エントランスホール



2012年8月10日 平和祈念展 in 札幌
日時：平成24年10月24日（水）～10月28日（日）
午前10時～午後7時（最終日は午後4時まで）
会場：モエレ沼公園ガラスのピラミッド アトリウム
1・展示スペース1



2012年7月26日 平和祈念展 in 新宿
日時：平成24年度8月8日（水）～8月12日（日）午
前9時～午後7時（初日は午後1時～、最終日は午後4
時まで）
会場：新宿西口広場 イベントコーナー



2012年7月9日 平和祈念フォーラム in 新宿
日時：平成24年8月11日（土）午後2時～午後4時
（開場午後1時30分）
会場：新宿住友ホール



2012年5月17日 平和祈念展 in 秋田
日時：平成24年6月30日（土）～7月4日（水）午前
10時～午後7時（最終日は午後4時まで）
会場：秋田市民交流プラザ（アルヴェ）きらめき広
場



2012年4月11日 平和祈念展 in 松山
日時：平成24年5月30日（水）～6月3日（日）午前
10時～午後7時（最終日は午後5時まで）

会場：松山市総合コミュニティセンター コミュニティプラザ



平和祈念展 in 松山

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

日時 平成24年5月30日（水）～6月3日（日）
午前10時～午後7時
（最終日は午後5時まで）

会場 松山市総合コミュニティセンター コミュニティプラザ
愛媛県松山市湊町7-5

入場料 無料

後援 愛媛県／愛媛県教育委員会／松山市／松山市教育委員会

出展数 約100点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 松山」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

そのほか、デジタルフォトフレームによる抑留絵画の展示を行います。



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース



平和祈念展 in 松山チラシ

平和祈念展 in 秋田

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

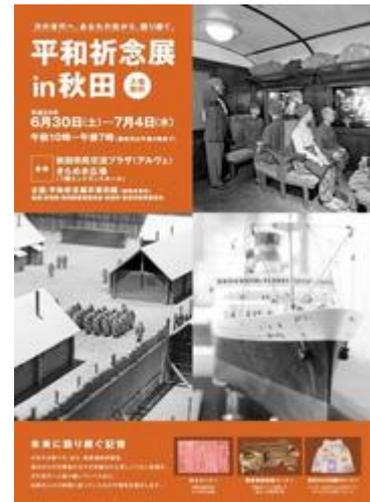
日 時 平成24年6月30日（土）～7月4日（水）
午前10時～午後7時
（最終日は午後4時まで）

会 場 秋田市民交流プラザ（アルヴェ）きらめき広場
秋田県秋田市東通仲町4-1

入場料 無料

後 援 秋田県／秋田県教育委員会／秋田市／秋田市教育委員会

出展数 約170点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 秋田」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。また、展示に合わせてアニメの上映会も開催します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

そのほか、デジタルフォトフレームによる抑留絵画の展示を行います。

<アニメ作品の上映会>

■■上映作品・スケジュール■■

野坂昭如 戦争童話集

「キクちゃんとオオカミ」（上映時間45分）

昭和20（1945）年の満州（現・中国東北部）からの引揚げ途中で家族とはぐれた少女と、少女を救った一匹のオオカミの交流を描いた作品。

日時 7月2日（月）～7月4日（水）／各日3回

- ① 午後1時30分～
- ② 午後3時30分～
- ③ 午後5時30分～



※7月4日（水）は①のみ上映

平和祈念フォーラム in 新宿

引揚げに見る母と子

終戦後、幼くして引揚げを体験した林 静一(画家)、バロン吉元(漫画家)。

二人は母とともに体験したその労苦を語り継いでいくため、引揚げにまつわる作品を描きました。

同じく引揚げ体験者である草野仁を迎え、戦争を知らない世代の母である中嶋朋子(女優)とともに、「母と子の物語」を通して、語り継いでいくことの大切さを、それぞれの立場から考えます。

定員となりましたので受付は締め切りました。



概要	
日時	平成24年8月11日(土) 午後2時～午後4時(開場午後1時30分)
会場	新宿住友ホール 新宿駅西口改札を都庁方面へ徒歩約10分
参加無料 参加ご希望の方は事前にお申込みください。	
定員	250名(先着順)
申込締切	平成24年8月8日(水) ※定員になり次第、受付を終了させていただきます。



草野 仁
(キャスター)

中嶋 朋子
(女優)



林 静一
(画家)

バロン 吉元
(漫画家)

プログラム	
第1部	中嶋朋子による絵本朗読
第2部	パネルディスカッション/草野仁・林静一・バロン吉元・中嶋朋子・増田弘(平和祈念展示資料館名誉館長)

ホームページで申込む

上のボタンをクリックして進んでください。

ファックスで申込む

上のボタンをクリックして申込用紙をダウンロード。必要事項を記入して下記まで送信してください。

送信先
03-5919-0926

はがきで申込む

ハガキに、氏名、年齢、住所、電話番号、参加希望人数を記入の上、下記まで郵送ください。

〒160-0003
東京都新宿区本塩町3-3
四谷駅前郵便局留
平和祈念フォーラム係

この件に関するお問い合わせ
平和祈念展示資料館(総務省委託)
平和祈念フォーラム係
TEL: 03-5919-0925 FAX: 03-5919-0926
e-mail: forum@heiwakinen.jp

電話による受付は午前10時より午後6時まで(土・日・祝日除く)

平和祈念展 in 新宿 関東軍の防寒外套

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

日時 平成24年8月8日（水）～8月12日（日）
午前9時～午後7時
（初日は午後1時～、最終日は午後4時まで）

会場 新宿西口広場 イベントコーナー
東京都新宿区西新宿1丁目先

入場料 無料

後援 東京都／新宿区／新宿区教育委員会

出展数 約80点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 新宿」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを紹介します。資料館の常設展でも展示していない、千人針、抑留者が着用していた関東軍の防寒外套、引揚船「恵山丸」の模型などを特別に展示します。また、行軍（こうぐん）の様子を撮影した小柳次一氏の写真パネルの展示も行います。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

そのほか、「勝山俊一展」前期作品の展示を行います。



千人針



引揚船「恵山丸」模型



関東軍の防寒外套

平和祈念展 in 札幌

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

日 時 平成24年10月24日（水）～10月28日（日）
午前10時～午後7時
（最終日は午後4時まで）

会 場 モエレ沼公園ガラスのピラミッド アトリウム1・展示スペース1
北海道札幌市東区モエレ沼公園1-1

入場料 無料

後 援 北海道／北海道教育委員会／札幌市／札幌市教育委員会

出展数 約90点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 札幌」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

洋画家・勝山俊一『ソ連抑留スケッチ集』の世界

勝山俊一氏がエラブカでの抑留体験を綴った画集『ソ連抑留スケッチ集』

（勝山俊一画/エラブカ東京都人会/昭和54年11月）の原画を映像で紹介いたします。

※右図は「虜囚列車」



<関連イベント>

■■アートワーク■■

「言の葉の樹」を植えよう

"白い大地の記憶"をテーマにシベリアの大地に見立てた会場で、木の葉を写し取った紙にメッセージを書いて、みんなで「言の葉の樹」を、植樹します。

※会期中、いつでも参加できます。



■■ミニコンサート■■

アートワークでつくる"白い大地の記憶"を音楽で表現します。

10月27日（土） 午後3時～午後5時～（各回約30分）

展示資料の一部を紹介します。



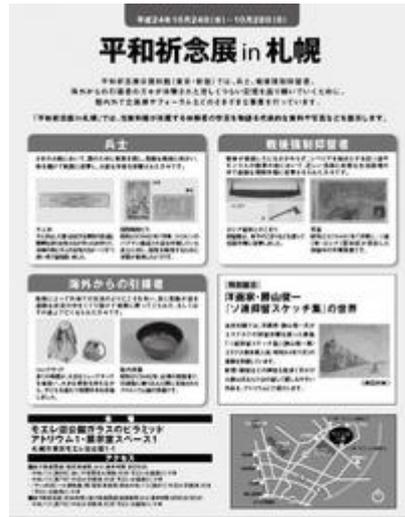
臨時召集令状 (いわゆる赤紙)



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース



平和祈念展示資料館

平和祈念展 in 札幌チラシ

平和祈念展 in 新潟

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

日時 平成24年11月7日（水）～11月11日（日）
午前9時30分～午後6時30分
（最終日は午後5時まで）

会場 新潟市東区役所 南口エントランスホール
新潟県新潟市東区下木戸1-4-1

入場料 無料

後援 新潟県／新潟県教育委員会／新潟市／新潟市教育委員会

出展数 約100点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 新潟」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

そのほか、デジタルフォトフレームによる抑留絵画の展示を行います。



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース



平和祈念展示資料館
TEL: 03-5323-8709
http://www.peacememorial.jp

平和祈念交流展 「シベリア強制抑留いろはかるた—斎藤邦雄の世界—」

平和祈念展示資料館と滋賀県平和祈念館は、この度、交流事業として「平和祈念交流展」を開催することになりました。今回の交流展では、当資料館が所蔵する漫画家・斎藤邦雄氏が描いた抑留体験の作品を紹介します。



- 日時** 平成24年11月7日(水)～11月25日(日)
 午前9時30分～午後5時
 ※月曜、火曜休館
- 会場** 滋賀県平和祈念館 地域交流室
 滋賀県東近江市下中野町431
- 入館料** 無料
- 連絡先** 滋賀県平和祈念館
 TEL : 0749-46-0300 / FAX : 0749-46-0350

終戦を迎えたにもかかわらず、約57万5千人の日本人が、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの地において強制抑留されました。抑留された方々の多くは、厳しい寒さの中、粗末な食事と辛い労働を強いられ、約5万5千人が亡くなったとされています。暖かみのあるタッチで定評のある斎藤氏の作品を通じて、戦後強制抑留者の労苦について理解を深めていただければ幸いです。

【斎藤邦雄(さいとうくにょ)氏プロフィール】

大正9(1920)年、群馬県藤岡市に生まれる。東宝在職中の昭和16(1941)年に召集を受け、出征。昭和20(1945)年10月シベリアへ抑留され、4ヶ所のラーゲリ(収容所)を転々とする。昭和23(1948)年7月、復員。東宝を退社してフリーとなり、「東京児童漫画会」に所属、児童雑誌に執筆する。平成25(2013)年、死去。著書に『陸軍歩兵よもやま物語』、『シベリヤ抑留兵よもやま物語』(光人社)など。

交通アクセス等は滋賀県平和祈念館のウェブサイトをご覧ください。



平和祈念展 in 宮崎

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

- 日時** 平成24年11月28日（水）～12月2日（日）
午前10時～午後7時
（最終日は午後4時まで）
- 会場** 宮交シティ3階 紫陽花ホール
宮崎県宮崎市大淀4-6-28
- 入場料** 無料
- 後援** 宮崎県／宮崎県教育委員会／宮崎市／宮崎市教育委員会
- 協力** MRT宮崎放送
- 出展数** 約120点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 宮崎」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

そのほか、デジタルフォトフレームによる抑留絵画の展示を行います。

<特別展示>

「小柳次一写真展」

従軍カメラマン・小柳次一氏は、約8年間（昭和13(1938)年～昭和20(1945)年頃）、陸軍報道部の嘱託および軍属として、兵士のありのままの姿にこだわり、写真を撮り続けました。

軍に提出したネガやプリントは、終戦直後に破棄または焼却処分されましたが、小柳氏が自宅で保管していたために焼却をまぬがれた写真もあります。特別展示としてその一部を紹介します。

■■アニメ映画の上映■■

「ビルマの豎琴」

舞台は太平洋戦争末期のビルマ（現・ミャンマー）。

終戦を迎え、収容所生活を経て日本へ帰国（復員）する兵士たちと、帰国を断念した上等兵の姿と戦地の様相を描いた作品です。

11月28日(水)～12月2日(日)

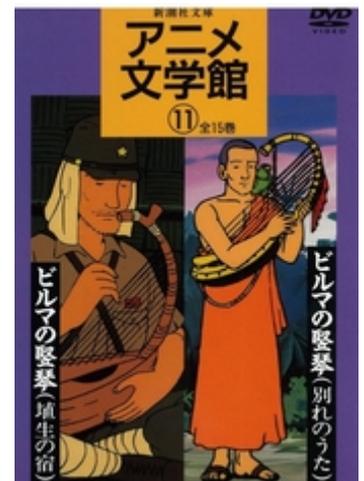
①午後1時～午後2時 ②午後3時～午後4時

※12月1日(土)は②のみ上映

■■トークイベント■■

平和祈念展示資料館の増田弘名誉館長の解説を交えながら、宮崎県遺族連合会会長 藤安澄夫氏とともに、労苦を語り継いでいくことの大切さについて語り合います。

12月1日(土)午後1時30分～午後2時30分



■■特別展示関連作品の上映■■

「時代を切り撮った男 ～小柳次一 86歳～」

従軍カメラマン・小柳次一氏について紹介した、MRT宮崎放送製作のドキュメンタリー番組です。

※上記のイベント開催時間を除き常時上映（約25分）

※右図は小柳次一（当時）



平和祈念展 in 名古屋

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものを展示します。

- 日 時** 平成25年1月16日（水）～1月20日（日）
午前10時30分～午後7時30分
- 会 場** mozoワンダーシティ イーストコート1階
愛知県名古屋市西区二方町40
- 入場料** 無料
- 共 催** 中日新聞社
- 後 援** 愛知県／名古屋市
- 出展数** 約60点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものなどを紹介する展示会を行っています。「平和祈念展 in 名古屋」では、当資料館が所蔵する戦後強制抑留者の労苦を物語る資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など
そのほか、デジタルフォトフレームによる抑留絵画の展示を行います。

<特別展示>

中日新聞社が所有する、さきの大戦末期の混乱を報じた新聞記事や、シベリア抑留関連の写真などをパネルで展示します。

また、中日新聞社が抑留体験者に行った取材で得た貴重な証言の一部もあわせて紹介します。

■■ 労苦体験手記の読み語り ■■

展示会場内・図書閲覧コーナーで、シベリア抑留体験者の手記の読み語りをを行います。

①午後2時～ ②午後3時～（約15分）

※会期中、毎日実施します。



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



伐採作業に使用したロシア製のこぎり

平和祈念フォーラム in 名古屋

シベリア抑留体験者の貴重な生の声を伝える

あなたは、戦争が終わってからも酷寒の地で乏しい食糧と劣悪な生活環境の中、過酷な労働に従事させられた約60万人にもおよぶ「戦後強制抑留者」の方々がいたことを知っていますか？

本フォーラムでは、シベリア抑留体験者の貴重な生の声をお伝えします。

定員となりましたので受付は締め切りました。

戦後の労苦を語り継ぐ「体験談募集！」

第二次世界大戦での戦後強制抑留および海外からの引揚げについてのご自身の体験談、または体験された方から聞いた話を募集します。詳しくはこちら



概要	
日時	平成25年1月19日（土） 午後2時～午後4時（開場午後1時30分）
会場	名古屋国際センター 別棟ホール
参加無料 参加ご希望の方は事前にお申込みください。	
定員	250名(先着順)
申込締切	平成25年1月11日(金) ※定員になり次第、受付を終了させていただきます。
共催	中日新聞社
後援	愛知県／名古屋市



矢野 きよ実 別所 哲也
(司会・パーソナリティ) (俳優)

プログラム	
第1部	別所哲也による労苦体験手記の朗読
第2部	シベリア抑留の体験談／聞き手：増田弘（平和祈念展示資料館名誉館長）

ホームページで申込む

上のボタンをクリックして進んでください。

ファックスで申込む

上のボタンをクリックして申込みフォームをダウンロード。
必要事項をご記入の上、下記までご送信ください。

送信先
03-3356-1562

はがきで申込む

ハガキに「氏名、性別、住所、電話番号、年齢、参加申込人数、車椅子ご利用台数、手話通訳希望の有無」を明記の上、下記の宛先までご郵送ください。

〒160-0003
東京都新宿区本塩町3-3
四谷駅前郵便局留
平和祈念フォーラム係

この件に関するお問い合わせ
平和祈念展示資料館（総務省委託）
平和祈念フォーラム係
TEL：03-3356-1560 FAX：03-3356-1562

e-mail: forum@heiwakinen.jp

電話による受付は午前10時より午後6時まで（土・日・祝日および年末年始（12月28日～1月6日）除く）

戦後の労苦を語り継ぐ「体験談募集！」

第二次世界大戦での戦後強制抑留および海外からの引揚げについてのご自身の体験談、または体験された方から聞いた話を募集します。

体験談の原稿（用紙サイズ、枚数等は自由）に、住所/氏名/年齢/電話番号を書き添えて〒460-8511 中日新聞社 事業局社会事業部 宛てに送付ください。

締切：平成25年1月15日（火）

お寄せいただいた体験談は、貴重な資料として中日新聞社および平和祈念展示資料館でお預かりします。一部を平和祈念フォーラムin名古屋の会場内に掲示します。また、平和祈念展示資料館の事業（ウェブサイト等）に活用させていただく場合があります。

※個人を特定できる情報の掲出、公開はいたしません。掲出、公開不可の場合には、その旨を記載ください。送付いただいたものは返送しませんので予めご了承ください。

平和祈念展 in さいたま

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

日時 平成25年2月19日（火）～2月23日（土）
午前9時30分～午後6時30分
（最終日は午後5時まで）

会場 さいたま市プラザノース ノースギャラリー4～7
埼玉県さいたま市北区宮原町1-852-1

入場料 無料

後援 埼玉県／埼玉県教育委員会／さいたま市／さいたま市教育委員会

協力 テレビ埼玉

出展数 約150点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in さいたま」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真のほか、埼玉県在住の漫画家・斎藤邦雄氏の絵画も展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

そのほか、デジタルフォトフレームによる抑留絵画の展示を行います。

<特別展示>

漫画家・斎藤邦雄が描いた戦後強制抑留

シベリアの収容所で約3年間の抑留生活を送った斎藤氏による、親しみやすく、あたたかみのあるタッチで描いた作品を紹介します。

※右図は「点呼」



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース

平成30年夏特別展「inさいたま」

平和祈念展 inさいたま

平和祈念展示資料館（西条町）では、県民・来場者皆様へ、
海外からの祈念者の日々が体感できた思いをつづいて記憶を語り継いでいくために、
展示として企画展「inさいたま」を開催いたします。

「平和祈念展 inさいたま」では、当資料館が所蔵する体験型の展示や動画も併せて展示いたします。

兵士

展示内容
展示品
展示品

戦後復興祈念

展示内容
展示品
展示品

海外からの祈念者

展示内容
展示品
展示品

祈念者

展示内容
展示品
展示品

さいたま市アサノース デーセンター

展示内容
展示品
展示品

平和祈念展示資料館 TEL:03-5323-8700
http://www.heyokan.jp

平和祈念展 in さいたまチラシ

記憶のリレー

～戦争体験をつなぐ課外授業～

平和祈念展示資料館が発信するシベリア抑留などの戦争体験を若い世代に語り継ぐ番組、「記憶のリレー～戦争体験をつなぐ課外授業～」をテレビ埼玉が制作します。

放送予定日時 平成25年2月16日（土）午後8時～8時55分

放送局 テレビ埼玉

番組を公開収録しますので、観覧希望の方は事前にお申込みください。

日時 平成25年2月2日（土）午後1時開演（開場午前12時30分）

会場 埼玉会館小ホール
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4

お申込みはこちら

「記憶のリレー」放送

～戦争体験をつなぐ課外授業～

平和祈念展示資料館（東京・西新宿）が発信するシベリア抑留などの戦争体験を若い世代に語り継ぐ番組「記憶のリレー～戦争体験をつなぐ課外授業～」をテレビ埼玉で放送します。

放送日時 平成25年2月16日（土）午後8時～8時55分

放送局 テレビ埼玉

2月2日（土）に埼玉会館小ホールで行われた公開収録では、埼玉県を中心とした10校の高校生たちが出演しました。

シベリア抑留を体験した埼玉県在住の漫画家 斎藤邦雄さんの当時の貴重な話（VTR）を聞き、父親の抑留体験を漫画化した おざわゆきさんを迎えて、「語り継ぐ」ためにどうしたらよいか、みんなで考えました。

